

## 第 13 回三番瀬評価委員会の開催結果概要（検討結果）

開催日 平成 21 年 8 月 27 日  
開催場所 千葉県国際総合水泳場会議室  
(習志野市)

平成 22 年度の総合解析に向けて必要な作業の検討

## 1 検討の視点

平成 22 年度に実施する三番瀬自然環境総合解析の進め方について、平成 8,9 年度及び平成 15 年度に行われた総合解析作業を参考に検討を行った。

総合解析は再生会議の関与のもとで県の事業として実施され、解析のための作図・作表・相関分析などの各種作業は主に委託業務などで行われる。

## 2 検討結果

実施する体制と、対象となる課題について検討した。特に、「現時点で判明している予算計上が必要な作業は何か」、という点に留意して整理した。対象課題については、H21 年度調査を実施中であり、また H20 年度調査を解析中であり、全てを網羅的に抽出できてはいない。

- (1) 1 年間を通じて総合解析の解析作業を具体的に指示し、全体を管理していく指導者が必要である。
- (2) 上記指導者は、専門的知識を持った千葉県職員が行うことが望ましい。
- (3) 発注にあたっては、これまでの一般競争入札による方法では限界があり、事業者企画書を提案させるプロポーザル方式も一歩進んだ方式として検討すべき。
- (4) ただし、どの発注方法をとったとしても、作業の方針や枠組み（例えば、必要な分析項目等）は発注者側（県）から提示する必要がある。
- (5) 総合解析にあたって、現時点で想定される経費負担が発生しそうな作業として、以下の項目が挙げられている。
  - ア 三番瀬の水の流れを類推し、その影響を予測するためのシミュレーションモデル計算
  - イ 県以外の機関が実施した三番瀬に関連する調査データの収集（三番瀬周辺を含む）
  - ウ 行徳湿地の自然環境の記述の追加
- (6) 総合解析の作業を実施する過程において判明した新たな作業や分析事項についても、解析に必要な作業の追加実施・作業方針の改善・場合によっては解析の枠組みの変更などについて柔軟に取り組めるように留意すること。